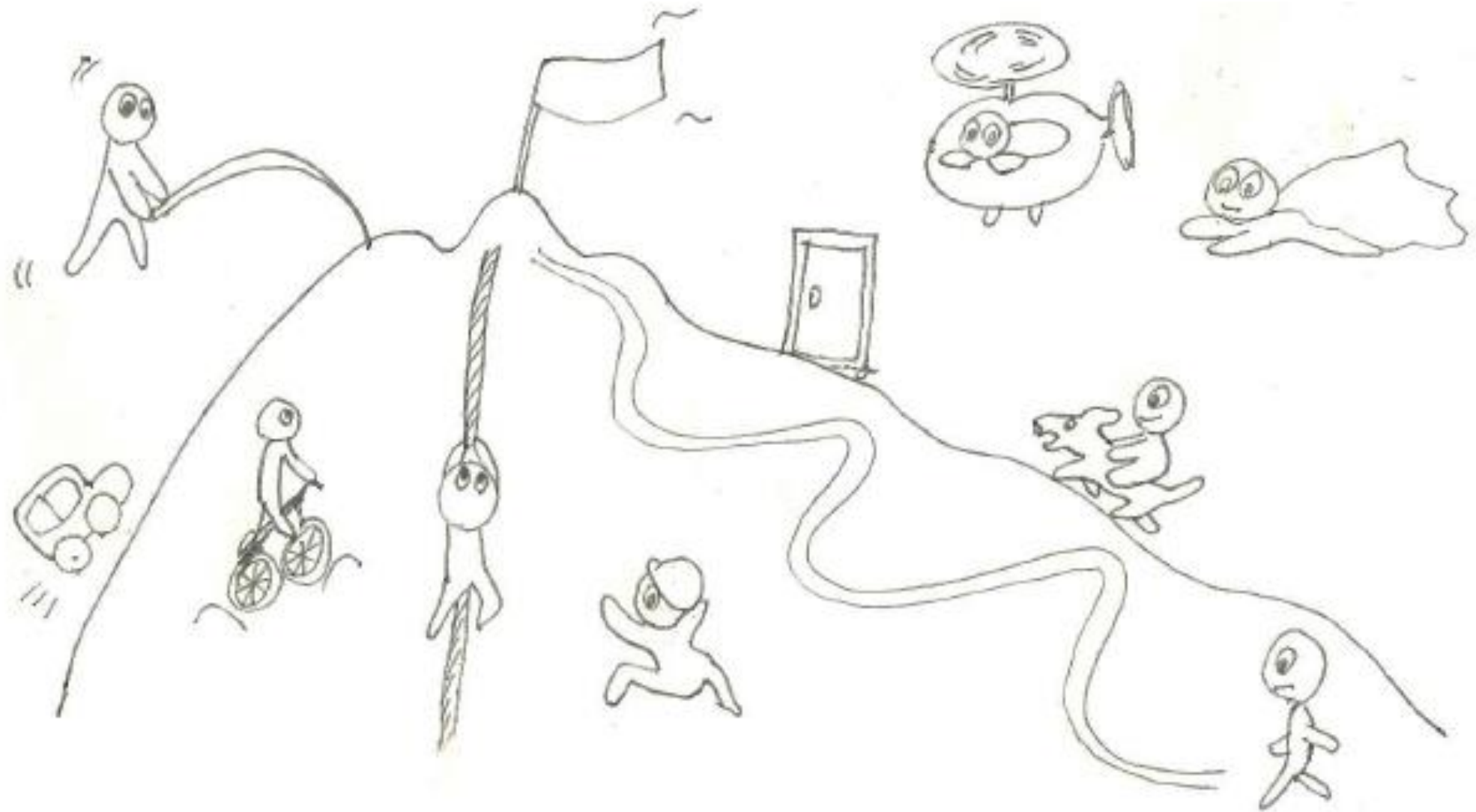


稲盛和夫さんの生き方に学ぶ レジリエンス

第3回

デジタルエンズで
重要なこと

考え方を变える



稲盛さんの場合

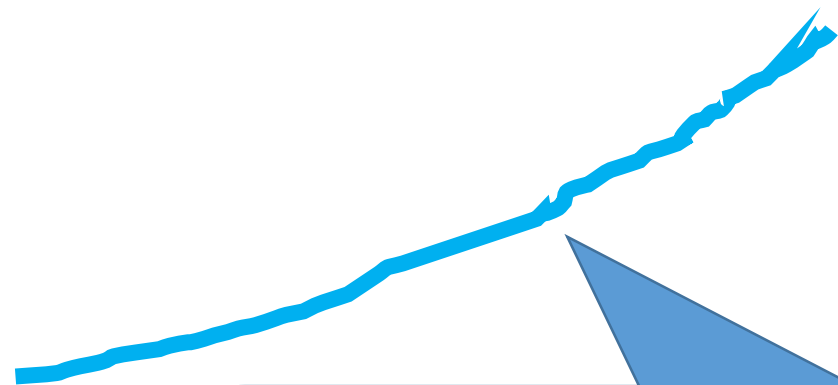
前向き 明るい 肯定的 協調的

思いやり 優しい 真面目 正直

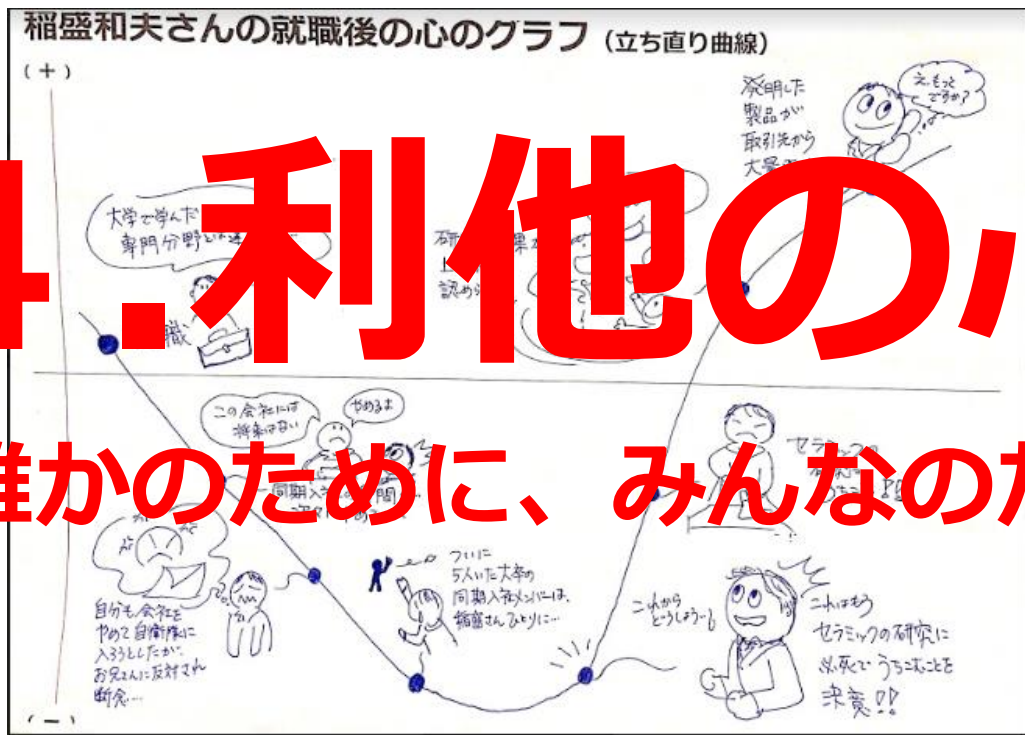
謙虚 感謝の心 無欲 努力家

思いやり、人を助ける気持ち → **利他**

稲盛さん、第4のレジリエンス



こうなったら、
自分の研究で、
この赤字会社を
立て直したい!!



4. 利他の心

(誰かのために、みんなのために)

レジリエンスの木を育てるには？

稲盛さんの ソーシャルサポート

- ・ 学校の先生
- ・ お兄さんの言葉
- ・ 隣の奥さん（本をくれた）

ソーシャルサポート
(助けてもらう)



- ・ 考え方を変える
- ・ 熱意を持って行動する
- ・ 素直に喜ぶ

利他の心
(人を助ける)

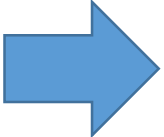
利他×レジリエンス ストーリー

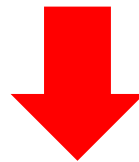
稲盛和夫さんの

利他×レジリエンス
ストーリー

稲盛和夫さんと利他

- 京都セラミック（現京セラ）創立

 設立から約2年…。若い人たちから
「給料とボーナスの保証をしてほしい」との
要求書が出される



経営の目的を決める


- 全従業員の物心両面の幸福を追求する
- 人類、社会の進歩発展に貢献する

稲盛和夫さんと利他

- **第二電電（KDDI）創業**

 電話会社が日本に一つでは、競争原理が働かず、料金が高いままになる。社会のためにならない！

- **JAL改革**

 従業員やその家族など多くの人が路頭に迷う。航空会社もほぼ1社独占になってしまう。私がやらねば！

動機善なりや、私心なかりきか

利他の心と レジリエンス

利他の心とレジリエンス

人のため…
あの人のため…
クラスのため…
世界のため…

視野が広がる

→大きな視点から解決策を考える



利他の心とレジリエンス



学ぶ・働く意欲がアップ

→ 「自分のため」よりも、
「誰かのため」「社会のため」の方が頑張れる

利他の心とレジリエンス

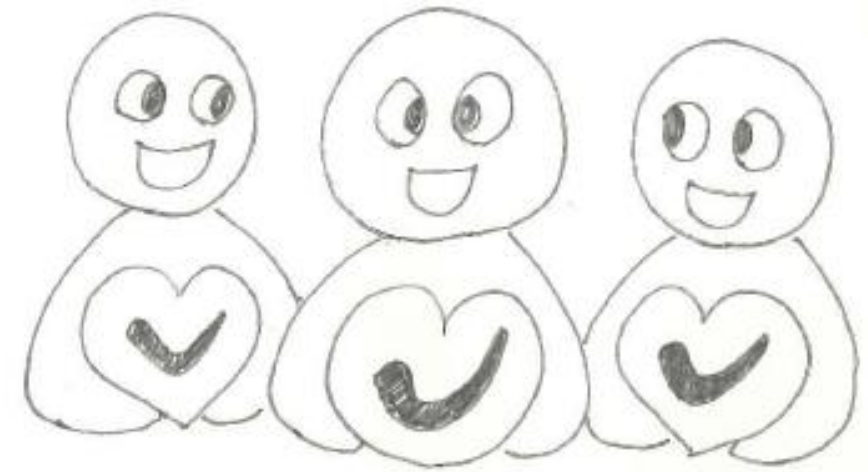


人が助けられる

→みんなのためになることなら、
みんなが助けられる。

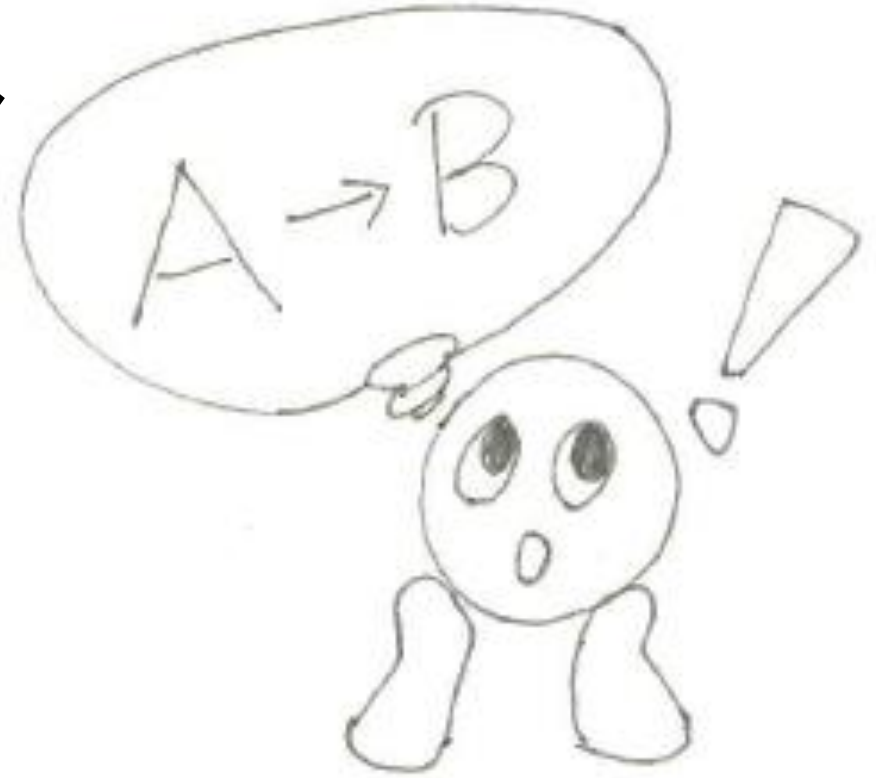
RITA LABOが
伝えたいこと

**みんな、
逆境を乗り越えて立ち直る力
「レジリエンス」を持っている**



**逆境を乗り越え、
逆境から学べば、
逆境で落ち込む前よりも、
成長できる**

立ち直るきっかけは 「考え方が変わる」 こと



今までの自分の立ち直り方法で
うまくいかない時は、
いろいろな人の立ち直り方を
真似してみよう

人に助けを求めるのも、 レジリエンスカのひとつ



自分のことばかり
考えるのではなく、
人を思いやり、助ける
「利他の心」が
レジリエンスを高める

リフレクシヨシ

「稲盛さんに学ぶレジリエンス」
授業を振り返ってみよう。